

令和4年度

恵那市中学校総合体育大会実施上の

COVID-19 感染拡大予防ガイドライン

令和4年5月31日
恵那市中学校体育連盟

1. 基本的には、「東濃地区中学校総合体育大会実施上のガイドライン」に準じて大会運営を行う。
2. 「東濃地区、東濃大会」と表記されている部分については「恵那市、恵那市大会」と読み替えるものとする。
3. 以下、恵那市大会に対応した変更点

(3) 3つの「密」(密閉空間、密集場所、密接場面)の回避

○試合会場への入場は、①選手及び選手以外の部員、②競技役員(審判員含む)、補助員、③保護者及び④その他の関係者とし、一般の方の入場は認めない。詳細は下記のとおりとする。

① 選手及び選手以外の部員

選手は、恵那市大会出場登録選手のみ。ただし、個人種目で1名のみで参加している場合は練習相手や選手のサポートとして1名の入場を認める。

選手以外の部員は、「③保護者」に示すア～ウの要件を考慮の上、入場を認める。

※選手以外の1・2・3年生の生徒の入場を認める。授業日であるため、部活毎での生徒引率が必要であることや、学校待機は難しいことなどの理由から。

令和 4 年度

東濃地区中学校総合体育大会実施上の
COVID-19 感染拡大予防ガイドライン



令和 4 年 5 月 2 6 日

東濃地区中学校体育連盟

令和 4 年度 東濃地区中学校体育連盟
東濃地区中学校総合体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン

令和 4 年度岐阜県中学校総合体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドラインは、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）及び「スポーツイベントの再開に向けた感染 拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会）、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からの情報、「全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」（日本中学校体育連盟）等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成された。

さらに、今後の知見の集積及び県内 42 市町村の新型コロナウイルスの感染状況、競技の特性、利用する施設(屋内外)収容人数やガイドラインにより、市町村の実態に応じて、生徒一人一人の安全・安心の視点から随時見直すことがあり得ることに留意することも示された。

本ガイドラインは、先に示された「令和 4 年度岐阜県中学校総合体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」に沿って基準を設ける。

1 大会実施に当たっての基本的な考え方について

大会の実施に当たっては、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」（文部科学省）を踏まえ、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）、「スポーツイベント再開に向けた感染予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、内閣官房審議会新型コロナウイルス感染症対策推進室からの情報、「全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」（日本中学校体育連盟）、令和 4 年度新型コロナウイルス感染症に対応した岐阜県高等学校体育連盟主催大会（各地区高等学校体育連盟主催大会を含む）の開催に関するガイドライン、各種競技団体ガイドライン等を参考に、今後の東濃地区中学校体育大会実施に当たっての基本的な考え方に基づき新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることとする。

【大会開催に当たっての基本的な考え方】

- (2) 感染源を絶つ
- (3) 感染防止の 3 つの基本
 - 身体的距離の確保 ○ マスクの着用 ○ 手洗い等の徹底
- (4) 3 つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- (5) 安全な活動環境の確保

2 大会実施時の感染防止策について

(1) 感染源を絶つ

- 各種目専門部は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等は、大会に参加させないことを徹底する。
- 各種目専門部は、各校の選手及び引率者等の 2 週間分の体調を学校ごとの検温カードから転記し

た【別紙1】体調記録表の記録を求め、健康管理を徹底する。

- 各種目専門部は、大会当日受付時等に、【別紙2】学校同行者体調記録表を提出させ、選手や引率者等の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は各種目専門部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
- 各種目専門部は、各会場の収容人数、ガイドラインなどにより入場を認める場合は、会場入り口において来場者（保護者）に、【別紙3】来場者体調記録表(入場許可証)にて、氏名・検温した体温・来場前2週間におけるア：平熱を越える発熱、イ：咳や喉の痛みなど風邪の症状、ウ：だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸難困）、エ：味覚や嗅覚の異常、オ：過去14日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航歴及び当該在住者との濃厚接触の有無の確認をして場の許可をし、**確認後返却**する。

☆ただし競技によって施設に規模や、会場（屋内外）の違いがあることから、各競技の実情に合わせてさらに制限を加えたり、逆に幅を広げたりすることができる。

- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- 各種目専門部及び引率者等は、大会中に、選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、当該選手の体調を確認するとともに、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

（詳細は 3 感染症が確認された場合について（PCR 検査対象となった場合を含む） 参照）

(2) 感染防止の3つの基本

ア 身体的距離の確保

- 原則開会式等は実施しない。ただし種目の特性や会場等を考慮して各専門部で判断して実施してもよい。また、抽選会は、必要最小限の人数によって代理抽選とする。
- 各種目専門部は、監督者会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、椅子の配置を広くするなどの工夫をする。
- 引率者等は、集合時待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。
- 各種目専門部及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣ハイタッチなどの実施を制限する。

イ マスクの着用

- 各種目専門部は、選手、引率者等及び大会関係者（補助員）に、マスク等を準備させ、大会中は、競技等実施時及び食事中等を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底するよう指示をする。ただし、活動中や気候の状況等より、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう選手に指導する。
- マスク等を着用して運動を行う場合には、同じ運動であっても身体へ高い負荷がかかり、低酸素症や熱中症などのリスクが高まるため、引率者等は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際給水用のコップ等を共用させない。

ウ 手洗い等の徹底

- 各種目専門部は、選手、引率者等及び大会関係者（補助員）が、こまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、場内アナウンス等で選手や引率者等に手洗いを促す。

- 各種目専門部は、参加者には、事前に手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参するよう周知徹底する。
- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。

(3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

- 試合会場への入場は、①選手及び選手以外の部員、②競技役員（審判員含む）、補助員、③保護者及び④その他の関係者とし、一般の方の入場は認めない。詳細は下記のとおりとする。

① 選手及び選手以外の部員

選手は、**東濃大会**出場登録選手のみ。ただし、個人種目で1名のみで参加している場合は練習相手や選手のサポートとして1名の入場を認める。

選手以外の3年生部員は、「③保護者」に示すア～ウの要件を考慮の上、入場を認める。

② 競技役員（審判員含む）及び大会補助員

大会運営に必要な最小限の人数とする。

③ 保護者

東濃大会出場登録選手と同数の人数まで保護者の入場を認める。

ただし、競技によって、施設の規模や会場（屋内外）の違いがあることや、試合の進行の仕方に違いがあることから、次の要件を考慮の上、保護者の入場者数に制限を加えたり、逆に制限の幅を広げたりすることができる。

ア 各競技の協会や連盟のガイドラインに準じていること。

イ 競技会場の利用規定に準じていること。

ウ 入場者の把握、管理が徹底でき大会運営に支障がないこと。

④ その他の関係者

その他の関係者とは次の方とする。

なお、入場に当たっては、来場者体調記録表（入場者許可証）（別紙3）を各会場の本部に提出し、かつ、競技会場の規定に従うものとする。

ア **東濃地区**中学校体育連盟役員

イ **東濃地区**大会出場校の管理職等

ウ **東濃教育事務所**や開催市の教育委員会関係者

エ 報道や写真業者（出場校の写真業者含む）

- チームでまとまって会場へ移動する場合引率者等は、バス等の車内が、密閉空間にならないよう、運転手と連携し定期的に換気をしたり、1台に乗車する人数を減らしたりするなどの工夫をする。
- 各種目専門部は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。また、更衣室内に選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように目印テープを貼付するとともに、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開けたりする等、換気に配慮する。
- 各種目専門部は、屋内で実施する競技において、会場内で人が密集しないよう、一度に会場に入る人数や学校数等を制限するなどの工夫をする。

4 大会の出場について

(1) 大会前

ア.学校が臨時休業を行っている場合は、臨時休業期間中の該当校の出場を認めない。

※学級閉鎖期間中における該当学級の生徒については、岐阜県教育委員会から示された「学級閉鎖期間中の公式大会への出場について」により対応する。

イ.部員または部顧問の感染が判明した場合や濃厚接触者（※１）と判断された場合は、保健所から指示された自宅待機期間が解除されるまで該当部員、部顧問の出場を認めない。

（※１）本ガイドラインの「濃厚接触者」とは保健所により特定されたものを指す。（以下同じ）

ウ.部員または部顧問が医療機関や保健所の指示により PCR 検査を受検し、その結果が大会前日までに判明しなかった場合は、該当部員、部顧問の出場を認めない。

エ.部員または部顧問の同居者の感染が判明した場合や濃厚接触者と判断された場合は、保健所から指示された自宅待機期間が解除（※２）されるまで当該部員、顧問出場を認めない。

（※２）同居者が当該家族等以外の陽性者の濃厚接触者となった場合は、濃厚接触者となった者の PCR 検査の陰性が判明するまで

オ.大会当日、部員または部顧問の同居者が発熱等（※３）の症状がある場合は、該当部員、部顧問の出場を認めない。

（※３）「発熱等の症状が明らかに基礎疾患に起因する」と医師が判断した場合を除く

カ.上記イ.ウ.エ.オに該当しない部員及び部顧問の出場に関しては、該当中学校、各種目専門部、**東濃地区**中学校体育連盟事務局、市町村教育委員会、**東濃教育事務所**等でその都度協議して決定する。

（例）学校において感染者が発生した場合、地域の自治体における濃厚接触者の特定等の取扱いによつては、保健所等による濃厚接触者の特定等が実施されない。その場合は、「令和４年５月２日更新版『新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた学校運営について（オミクロン株の特性を踏まえ観戦再拡大時に備えた学校の対応を含む）（令和４年５月２日付け岐阜県教育委員会教育長通知）』」に基づき、「濃厚接触者の候補」や「自宅待機陽性者」等を特定し、部員や部顧問の出場を検討することとなる。

(2) 大会参加申込後に上記（１）が判明した場合の対応について

ア.団体競技においては、選手変更を認める。変更手続きは、参加申込書に様式に従って行う。

イ.個人競技においては、選手変更は認めず欠場とする。

(3) 大会期間中

ア.会場に入る全ての者は、大会当日の朝必ず、自宅で検温を行い、平熱であることを確認しマスクを着用したうえで会場に入る。

イ.特に選手（大会補助員、エントリー以外の部員等も含む）は部顧問が責任をもって検温結果を確認すること。（息苦しさ（呼吸困難）強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状は勿論比較的軽い風邪の症状（体温が平熱より明らかに高い等）がある場合は会場に入ることができない。）

ウ.競技実施中及び観戦中に、発熱などの症状を訴える者を確認した場合は、けが人の処置室とは別の体調不良用の待機場所に待機させ保護者に迎えに来てもらい医療機関への受診をすすめる。

エ.大会期間中に会場にいた者の感染が判明した場合には、感染者は勿論、濃厚接触者に該当する者は保健所から指示された自宅待機期間が解除されるまで大会への出場は認めない。

オ.上記ウ.エとなった場合、成立した試合結果の取り扱いやその後の試合の組み合わせ等については、各種目専門部で判断して決定する。

5 大会開催可否判断について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、以下の状況となった場合、臨時に代議員会を開催し、大会開催可否について検討する。

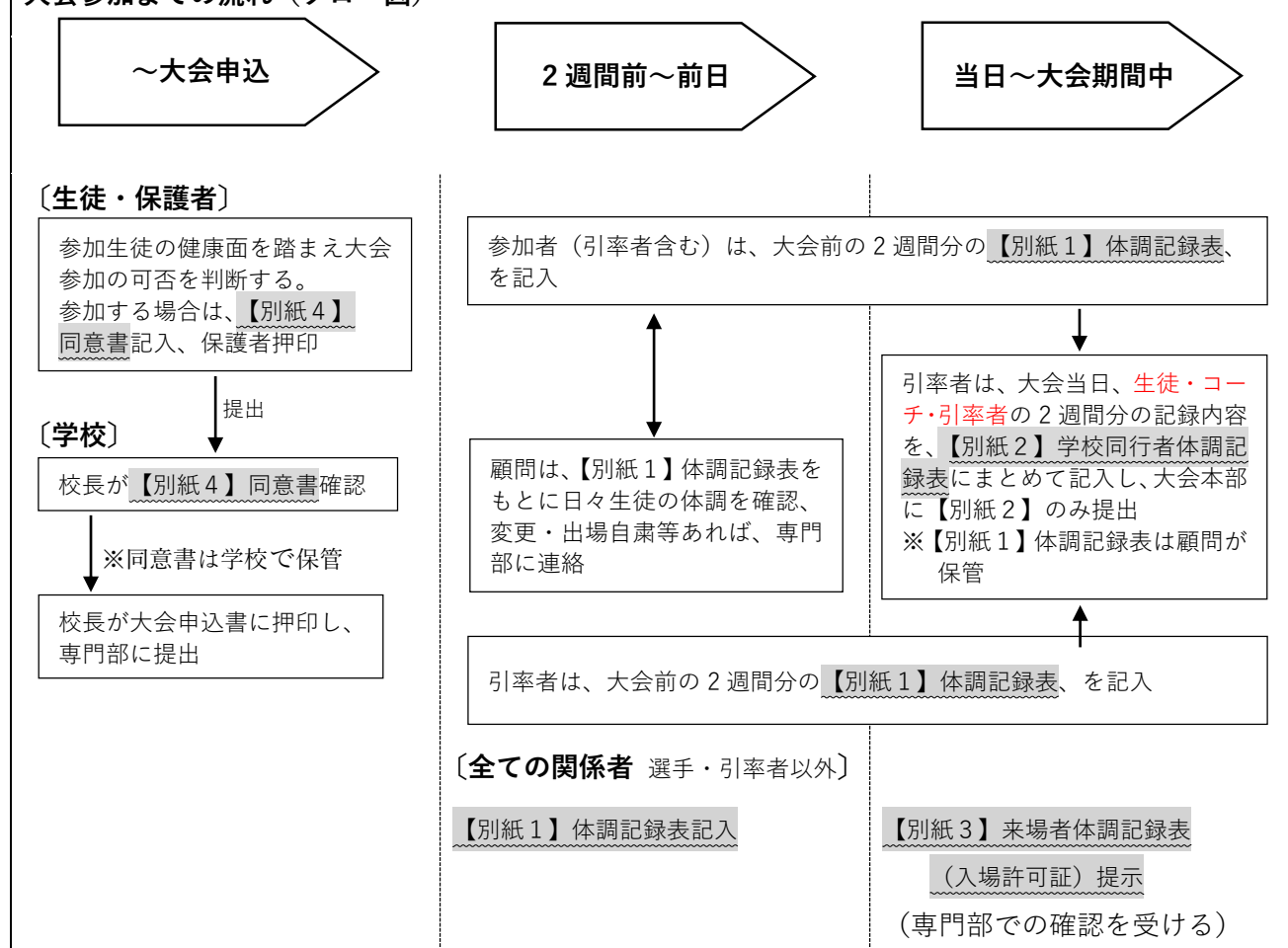
- 岐阜県に対して新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令された場合
- 岐阜県独自の緊急事態宣言等の発令またはイベント開催自粛要請がされた場合
- 岐阜県内医療機関の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れが対応不可となった場合
- 各市代表選手の参集が困難な場合（申し込み参加校の 1/4 以上）
- 各市大会（予選会）の開催が困難な場合（東濃地区中体連地区の 2/3 程度が実施に影響を生じたとき）
- 大会に参加している者及び大会運営に係る者に新型コロナウイルス感染症感染者が発生し、大会運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合
- その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難とされる場合

「令和 4 年度岐阜県中学校総合体育大会実施上の COVID- 19 感染拡大予防ガイドライン」を踏まえて、感染拡大予防に関わる作成書類を以下(P 7)に示し、別紙書類を東濃地区大会用に改定した。

感染拡大予防に関わる作成書類 一覧

書類名	作成者	提出先	備考
【別紙 1】体調記録表 (大会 2 週間前より記録)	会場に入場する全ての人(生徒、保護者、役員、顧問、コーチ等)	・生徒、保護者、コーチは、顧問へ提出 ・上記以外は各自保管	別様式可。(学校で使っている「健康チェックカード」等)
【別紙 2】学校同行者体調記録表	顧問 記載は、 生徒・コーチ・顧問(引率者)	大会本部	東濃地区版に改定 別紙 1 をとりまとめ、受付時に提出。
【別紙 3】来場者体調記録表(入場許可証)	保護者 、大会役員、その他の関係者	大会本部 ⇒確認後返却	東濃地区版に改定 事前配付ができない場合は、当日記入。
【別紙 4】同意書	生徒(保護者)	学校	県・地区・市を一枚にまとめたものを作成した。
各種目専門部用サンプル	専門委員長	なし	サンプルを参考に各競技部で検討
選手・引率者用サンプル	専門委員長	なし	サンプルを参考に各競技部で検討

大会参加までの流れ(フロー図)



体調記録表

所属（ ） 氏名（ ）

◎ 自身の体調について、素直に申し出るようにしてください。体調の異変を感じた際は、早めの相談や受診をお願いします。

	月 日	曜 日	体 温	体調について（各項目の□にレをすること）
1	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
2	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
3	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
4	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
5	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
6	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
7	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
8	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
9	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
10	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
11	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
12	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
13	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
14	月 日 (大会 1 日目)		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
15	月 日 (大会 2 日目)		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
16	月 日 (大会 3 日目)		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない

来場者体調記録表(入場許可証)

令和 4 年 月 日

保護者、大会役員、その他の関係者 氏名()

※保護者の方は、生徒の所属中学校・氏名を下記に記入

所属 (中学校) 生徒氏名 ()

1 記入事項 (1)～(4)の各項目へ漏れなく回答ください

※ 個人情報取得については、大会終了後に参加者から新型コロナウイルス感染の報告を受けた場合に必要となる拡大予防対策措置のためであり、その目的の達成に必要な範囲内で使用します。なお、主催者側で1カ月程度保管し、その後は破棄します。

(1) 以下の事項に該当する場合には自主的に参加を見合わせてください。

- ① 体調がよくない(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ② 新型コロナウイルス感染症陽性とされたものとの濃厚接触がある
- ③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

→ 【 該当する ・ 該当しない 】

(3) 本日の体温 () °C

(4) 前2週間における以下の事項の有無(いずれかに○をしてください。)

- | | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|
| ① 平熱を超える発熱(概ね 37.5℃ 以上) | → | 有 | ・ | 無 |
| ② 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状 | → | 有 | ・ | 無 |
| ③ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難) | → | 有 | ・ | 無 |
| ④ 臭覚や味覚の異常 | → | 有 | ・ | 無 |
| ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等 | → | 有 | ・ | 無 |

2 確認事項

- (1) マスクを着用すること(受付参加時や着替え時の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)。
- (2) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (3) 他の参加者、主催者、スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること(障害者の誘導や介助を行う場合を除く)。
- (4) 大会開催中に大きな声で会話、応援をしないこと。
- (5) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (6) 大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (7) 専門部は行動履歴書を記載し、感染者発覚の際は濃厚接触者特定のために必要となる場合もあるため、大会終了後1カ月程度保管しておくこと。

「東濃地区大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例

【各種目専門部用サンプル】

☐	感染防止対策について、施設と事前打ち合わせを行っている。
☐	感染防止対策について、運営スタッフと事前打ち合わせを行った。
☐	大会関係者全員の健康状態について確認を行った。
☐	会場内の巡回・確認について、運営スタッフのローテーションを作成し周知している。
☐	会場入り口等に手指消毒薬等を設置している。
☐	更衣室は、一度に入場できる人数を入り口付近に明示している。
☐	更衣室の床に、生徒同士の間隔を取るための目印テープを貼付するとともに、換気が行われている。
☐	試合中、チームが使用するベンチ等は、十分間隔が空いている。
☐	一度に会場には入れる人数や学校数等を制限している。
☐	広さにゆとりのある食事場所を、参加校に指定している。

※ 上記内容はサンプルのため、会場や競技の特性に合わせ内容については各競技部にて検討する

「東濃地区大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例

【選手・引率者用サンプル】

☐	風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）はない。
☐	朝、検温を実施し、発熱が無いことを確認している。
☐	マスクを準備している。
☐	タオルやハンカチを準備している。
☐	会場に移動する際、感染防止対策を講じている。
☐	手洗いを実施する。 （会場到着時・更衣前後・試合前後との距離・解散時 等）
☐	更衣室内に選手が密集しないよう、適切に使用している。
☐	常に自校や他校の生徒、大会関係者等との距離を、できるだけ2メートル（最低1メートル確保している）
☐	給水するためのコップ等を共用しない。
☐	食事の際、間隔を取って座り、対面を避け、会話は控える。

※ 上記内容はサンプルのため、会場や競技の特性に合わせ内容については各競技部にて検討する